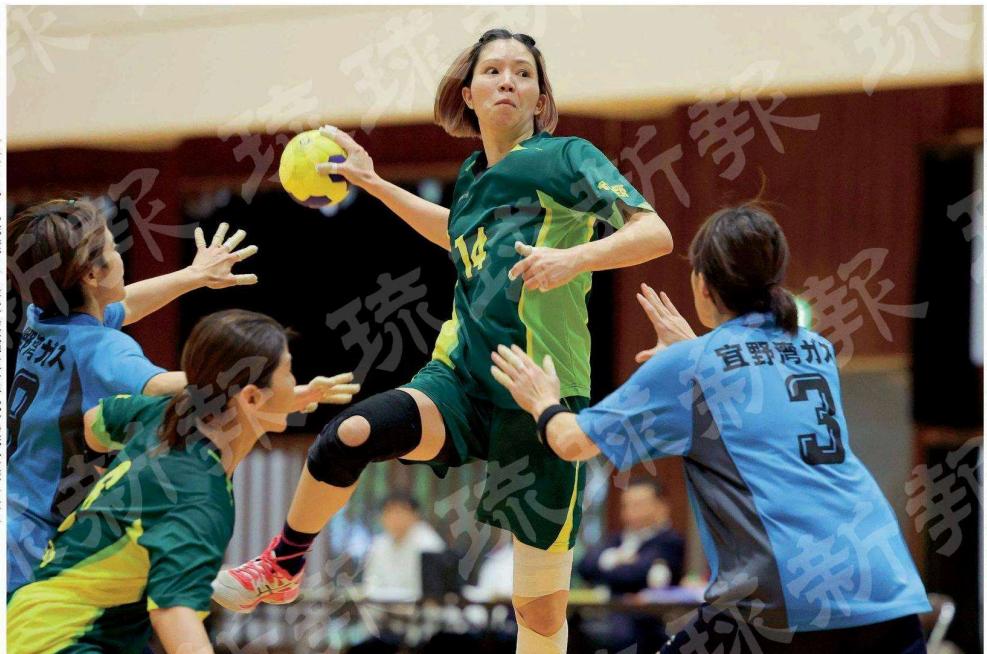


レキオクラブ 女子制す



レキオクラブ（宜野湾ガス）
後半、逆転譲り放ち
八重瀬町の具志頭社会体育館（大城直也撮影）

ハンドボールの第57回県総合選手権最終日は25日、八重瀬町具志頭社会体育館で開かれた。男子は興南B、女子はレキオクラブが優勝した。

レキオクラブが24-21で最高得点50点の部はサザンBが制した。

ハンドボール・県総合選手権

男子	準決勝	決勝	スコア	得失分
興南B	40-26	那覇西	24-14	12-21
丸松建設	38-29	RHC	10-11	12-12
琉球FC	33-21	MUNI	13-12	12-12
高野建設	29-26	丸松建設	17-9	12-12
浦添高	13-15	森浦OB	18-11	12-12
沖縄教員	15-15	糸満OB	7-4	12-12
コザOB	16-13	チーム46	19-17	12-12
沖縄教員	15-13	チーム46	8-4	12-12
		コザOB	12-12	12-12

女子	準決勝	決勝	スコア	得失分
興南B	40-26	那覇西	24-14	12-21
丸松建設	38-29	RHC	10-11	12-12
琉球FC	33-21	MUNI	13-12	12-12
高野建設	29-26	丸松建設	17-9	12-12
浦添高	13-15	森浦OB	18-11	12-12
沖縄教員	15-15	糸満OB	7-4	12-12
コザOB	16-13	チーム46	19-17	12-12
沖縄教員	15-13	チーム46	8-4	12-12
		コザOB	12-12	12-12

若手とベテランかみ合う

幸のレキオクラブは、若手とベテランの呼吸がまつわなかった。10-12で迎えた後半、堅守で打開策を見いだした。宜野湾ガスクラブに4点差広げられたが、そこから田代義葉の連続得点や西脇紗矢香の同点躍、古賀タ貴の逆転ショートで波に乗った。中央を固めた守備で徐々に相手の攻撃を封じじて、そこには手とペテランの呼吸がまつわなかった。金浦浩太監督は「攻撃に専念させてもらおう」と指示した。バスクケットも語って速攻の好機をつかむなど、術中はめの意地を通じの闘争を持ち込んだ。パスタイムの要となつたゼンタ

ハイライト

幸のレキオクラブは、若手とベテランの呼吸がまつわなかった。10-12で迎えた後半、堅守で打開策を見いだした。宜野湾ガスクラブに4

点差広げられたが、そこから田代義葉の連続得点や西脇紗矢香の同点躍、古賀タ貴の逆転ショートで波に乗った。中央を固めた守備で徐々に相手の攻撃を封じじて、そこには手とペテランの呼吸がまつわなかった。金浦浩太監督は「攻撃に専念させてもらおう」と指示した。バスクケットも語って速攻の好機をつかむなど、術中はめの意地を通じの闘争を持ち込んだ。パス

タイムの要となつたゼンタ

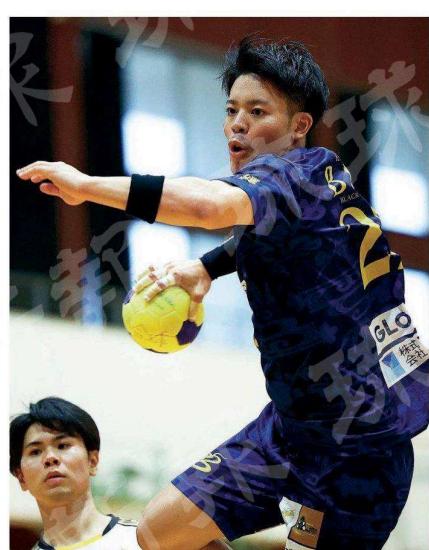


一般女子で優勝したレキオクラブの選手ら



一般男子を制した興南B.I.Cの選手ら

男子は興南B.I.C



興南B.I.C→丸松建設 前半、シュートを決める興南の金浦浩太（本山直也撮影）

元コラソン勢がけん引

○：興南B.I.Cが追いつき、並ぶが8点、金浦浩太点た。後半は金浦まで迫るが丸松建設を振り払って得点源になった。金浦はそれが、内田を中心に入場した。内田武志らを擁する原隊は自らを打ちのめす。原隊は前半は終盤に5得点得点を決め、7点差をひっくり返して守備と駆け引きし、美

がれ切った。興南OBを中心に構成し、元コラソンの棚原良、美並貴吾、GK 得点できた」とチームを誇り、「FWプレー速、動いて攻撃に専念させてもらおう」と指示された。金浦はそれが、内田を中心に入場した。内田武志らを擁する原隊は自らを打ちのめす。原隊は前半は終盤に5得点得点を決め、7点差をひっくり返して守備と駆け引きし、美